

CSRレポートに ISO26000を織り込むための 理論と実践講座

ISO26000は、多様なステークホルダーが協働して、あるべき将来の世界を描いた設計図という面を持っています。これを咀嚼して、自社の中に取り込むことは容易ではありません。

一方、これに向かい合い、咀嚼し消化することは、自社を将来に向けて世界企業として鍛えることとなります。

ISO26000を消化するには色々な方法がありますが、CSRレポートを活用するのは具体的に有効な方法です。レポートという実体を用いて、ISO26000をCSRレポートに織り込むには、どうすれば良いかを考えることによって、ISO26000が描く価値観や自社課題を考え、整理する良い機会となります。当然のことながら、CSR推進体制作り役に役立つとともに、レポートを革新させることにもなります。

本講座は、少人数で、講座と議論を交えて行います。

株式会社クlean コンサルタント 山口 智彦

講座内容(予定)

全2回構成です。

初日：2月23日(木)16:00～18:30

1)ISO26000の本質と骨子の講義

参加者との質疑応答と議論を交えて進めます。以下同様。

2)ISO26000をレポートに織り込むための基本的な考え方

本質の取り込み方、および、中核主題の取り込み方の両面について講義と議論。

3)ISO26000の消化における最大課題である「デュー・ディリジェンスの実践と

レポートへの反映」の手法

二日目：3月1日(木)16:00～18:30

4)自社がこれまでマテリアリティとしてきたものと、ISO26000の中核7主題をどのように融合させるかの方法

5)中核7主題

主題そのものの咀嚼の方法とレポートへの反映方法

※各回終了後(18:30～)、同会場で1時間弱の茶話会を予定しています。

講座概要 (対象・費用・費用)

- ◆対象： 企業のCSR部署の責任者、社内体制担当者、CSRレポート担当者
- ◆定員： 8名（1社につき1名様でお願い致します。2名様で参加を希望される場合には別途ご相談下さい。）
※定員になり次第締め切ります。定員後お申し込みされた方には次回の講座をご案内致します。
- ◆参加費用：10,000円／人（※全2回分、税込み）
- ◆会場： 株式会社クレアン 東京本社 会議室 <http://www.cre-en.jp/>
- ◆主催： 株式会社クレアン

講師

山口智彦 株式会社クレアン コンサルタント

筑波大学第一学群卒業（社会学専攻）。
東京エレクトロン株式会社にて海外法人設立運営、海外顧客マーケティング。
NGO「日本野鳥の会」企画部長として企業との共同プログラム開発・運営。
国際環境NGO「コンサベーション・インターナショナル」にて、プログラムオフィサーとして
ガーナ、インドネシア他の熱帯雨林保全、農家の生活向上のプログラム等を企業と共同実施。



2002年からクレアン/CSR経営研究所にて、約40社のCSR体制構築と推進支援。
2011年は、NPO/NGOがアライアンスを組んで企業活動のレビューを行う
「CSRレビューフォーラム」設立・運営に関わる。<http://www.csr-review.jp/>